

授業科目名	レクリエーション概論	単位数	2単位
担当教員名	西垣 景太	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）			
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) レジャー・レクリエーションに関する基本的内容について理解する。 (2) 様々なレジャーやレクリエーションの活動について理解を深める。 (3) 実際にレクリエーションを体感し、その実施方法を習得することができる。			
授業の概要			
レクリエーションの原義は「壊れたものを創り直す」ことであり、一時的に疲労から回復することを意味する。そして、回復のための遊びや活動自体をレクリエーションと呼ぶようになった。今日の日本はストレスフルな社会であり、我々の心身の発達にはレクリエーションは欠かすことができない活動の一つといえる。そこで本授業では、レクリエーションの基本的な内容や方法を学び、自らが活用できるように講義を展開していく。			
授業計画			
第1回：古代から現代までのレジャー時間の捉え方 第2回：レジャー活動とその広がり、レジャー経験の心理的効果とは 第3回：レクリエーションの発展の歴史 第4回：休日・休暇の活かし方、労働時間と余暇時間 第5回：健康社会へ向けての取り組み 第6回：ホイジンガやカイヨワによる遊びの定義、趣味のよこび 第7回：レジャー・レクリエーション活動（1）旅行・登山・キャンプ 第8回：レジャー・レクリエーション活動（2）ギャンブル・ボランティア活動 第9回：レジャー施設の現状と役割（1）テーマパーク・野外教育 第10回：レジャー施設の現状と役割（2）自然保護への取り組み・国立公園 第11回：福祉レクリエーション（1）高齢者のレクリエーション 第12回：福祉レクリエーション（2）障害者のレクリエーション 第13回：教育現場におけるレクリエーション 第14回：レクリエーションの展開：コミュニケーション・ワーク 第15回：目的・対象に合わせたレクリエーション・ワーク定期試験			
スクーリングでの学修			
第1回から第15回全ての内容を横断的に含む。 (主に、第2・4・5回の実践に向けた背景と第13回から第15回の実践的取り組みの内容を含む。) アクティブラーニングの手法を用いた授業展開を実施する。			
テキスト			
澤村 博・近藤 克之『これからのレジャー・レクリエーションー余暇社会に向けてー改訂3版』ポラーノ出版 2016年			
参考書・参考資料等			
参考文献必要に応じて紹介する。			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			